

平成26年3月8日発行

2位に北門. 永山が逆転3位に!

第5回道北ブロックカブスリーグU-15 兼 第20回旭川大雪ライオンズクラブ旗争奪ジュニアユース選手権

第5回道北ブロックカブスリーグU-15兼第20回旭川大雪ライオンズクラブ旗争奪ジュニアユース選手権は、9月8日に忠和公園などで最終節が行われました。3位争いでは、永山が北門に敗れましたが、緑が丘かも稚内南に敗戦し、永山が3位に滑り込みました。

第8節-2 9月7日 (土) 忠和公園

北門 1-0 (1-0) コンサ旭川

得点者 瀧川 (27分) (北)

北門 GK石崎 DF森, 中村宏, 大西, 能代 MF瀧川, 田中, 高柳 (鈴木颯), 畑, 得永 FW石澤 (鈴木恭, 釜土)

コンサ GK福澤 DF枝園, 谷口将, 板谷智, 谷口颯 MF長田, 田淵, 橋本, 渡辺友 FW荒川, 阿部

序盤はコンサペース。橋本, 渡辺友が中盤でボールをさばき, 阿部, 荒川にボールを当てながらワンタッチプレーを多用し, 相手DFのギャップをついて中央突破を図ろうとする。伊藤を欠く北門はボランチの得永にボールを集め, 高柳, 石澤の裏へ縦パスを送ってダイレクトプレーで攻撃を仕掛ける。27分北門は, 右サイド森のクロスを起点に, 田中が左サイドからラストパス。中央でボールを受けた瀧川がシュート。相手DFに当たったボールを再び冷静に蹴り込んで先制点を奪う。この1点でリズムを取り戻した北門は瀧川, 得永と中心にボールを支配し押し込むが前半は1対0で終わる。後半も開始早々は前半から豊富な運動量を見せていた瀧川が, 前線から中盤の底まで走り回り, 展開を図ろうとするが, トップの得永にボールが集まらず次第にコンサにリズムを奪われる。前半同様短いパスを駆使して攻撃するコンサはFW阿部にボールが収まり, 厚みのある攻撃をみせる。中盤の底では, 橋本がボールを左右に配球して, 再三北門の守備ラインのギャップを狙ってスルーパスを送る。しかし北門は中村宏が的確なカバーリングでフィニッシュの芽を摘んでいく。北門も次第に得永にボールが集まりだした終盤は, 畑のシュートや中村宏のヘッドがゴールバーをたたきなどチャンスは生まれるが追加点は奪えず。試合はこのまま北門が1対0で逃げ切った。



第14節 9月8日 (日) 忠和公園

北門 3-2 (3-0) 永山

得点者 伊藤 (8分), 中村宏 (29分), 瀧川 (33分) (北)

板橋 (68分), 幸田 (69分) (永)

北門 GK中村昂 (石崎) DF森, 畑, 大西, 釜土 MF瀧川 (鈴木恭), 能代 (鈴木颯), 中村宏 (田中), 石澤 (高柳), 伊藤 FW得永

永山 GK大沼 DF堂谷, 山崎, 鈴木佑, 増子 (布施) MF森, 北川 (木村), 幸田, 鈴木祥 FW佐々木, 板橋

立ち上がり永山は積極敵にプレスをしかけ北門陣内でゲームを進める。しかし北門は8分, 伊藤が左サイドからドリブルを開始, 中央に切れ込み右サイドの高柳にパス。高柳のグラウンダーのセンタリングに伊藤が飛び込み先制点をあげる。その後も永山が押し込む時間が続くが得点を奪うことができない。逆に少しずつボール保持の時間が増えた北門は, 28分右サイドを細かくつないでPKを得る。これを中村宏が確実に決めて追加点をあげる。さらに33分には伊藤が左サイドで三人を抜いて中央で待つ瀧川にパス。瀧川のミドルシュートはディフレクトし, ゴール左に飛び込む。後半は永山が攻め込むがなかなか決定機を生み出せない。68分右サイドからのクロスボールが抜けてきたところを板橋が角度のないところからシュートを決め1点を返すと, 追加タイムには幸田がFKを直接決め猛反撃するが, タイムアップ。北門が3対2で勝利し, 2位の座に花を添えた。



広陵 4-2 (2-2) 忠和

得点者 藤原 (18分), 小林 (32分), 西池 (49分), 小原 (56分) (広)

芳野 (21分), 芝崎 (31分) (忠)

警告 山中 (広)

広陵 GK越田 DF石橋, 坂牛, 藤田, 山中 MF甲斐, 西池 FW藤原 (井上), 小原, 熊谷, 小林

忠和 GK岡本 DF渋谷 (武内), 設楽, 山田, 岩崎 MF山本, 安口 (鈴木), 漆畑, 芳野 (松尾) FW田中, 芝崎

序盤から広陵は小林にボールを集め, 攻撃を重ねる。忠和も左から芳野, 中央から芝崎がボール運びチャンスをうかがう。18分広陵は小林のセンタリングを藤原が受け, 相手DFをかわして先制点を決める。しかし忠和は, 21分スルーパスに抜け出した芳野が同点シュートを決めると, 31分には漆畑のセンタリングに芝崎が合わせて逆転に成功する。広陵は32分ゴール前で熊谷からのパスを受けた小林が得点し同点を終了する。後半は広陵ペースで試合が進み, 49分西池が逆転のシュートを決めると, 56分には甲斐の縦パスを受けた小原が振り向きざまにゴールネットを揺らし4対2とした。試合はこのまま終了, 広陵は13勝1敗という好成績で優勝を飾った。





平成26年3月8日発行

2位に北門. 永山が逆転3位に!

第5回道北ブロックカブスリーグU-15 兼 第20回旭川大雪ライオンズクラブ旗争奪ジュニアユース選手権

第5回道北ブロックカブスリーグU-15兼第20回旭川大雪ライオンズクラブ旗争奪ジュニアユース選手権は、9月8日に忠和公園などで最終節が行われました。3位争いでは、永山が北門に敗れましたが、緑が丘かも稚内南に敗戦し、永山が3位に滑り込みました。

稚内若葉台

稚内南 4-1 (0-1) 緑が丘

得点者 大沼 (38分, 57分, 69分), 成田 (47分) (稚) 笠井 (18分) (緑)

警告 三好 (緑)

緑が丘 GK青山 DF仁木, 鏡, 平泉, 上田 MF深野, 堀, 斎藤, 笠井 FW三好, 鶴羽 (中島)

稚内南 GK李 DF清水, 鈴木, 辻口, 大江 MF大沼, 成田, 吉田 FW川崎, 櫻井, 日詰 (北)

前半は稚内南が大沼, 成田を中心として攻撃に出るがゴールは割れない。18分に緑が丘はカウンターから、笠井がミドルシュートを決めて先制する。後半は稚内南が反撃。3分には大沼がペナルティエリア内でドリブル突破したところを倒されPKを得る。これを大沼が決めて同点に追いつくと、47分には成田が逆転ゴールを決める。勢いの乗った稚内南はその後大沼が2点を決めハットトリックを完成。4対1で稚内南が緑が丘を下し、6位に浮上。ブロックユースへの出場権を獲得した。

啓北 2-0 (1-0) コンサ旭川

得点者 工藤秀 (7分), 鈴木 (41分) (啓)

警告 阿部 (コ)

啓北 GK見角 DF中里, 池田, 林, 高橋 MF工藤秀, 秋葉一, 鈴木, 若田直, 横山 FW大友 (深見)

コンサ GK福澤 (鴨川) DF枝園, 谷口将, 板谷智 (鈴木), 谷口颯 MF長田, 田渕, 橋本, 渡辺友 (渡部) FW荒川, 阿部

ブロックユース出場のためには勝ち点3がほしい啓北は、序盤から積極敵に攻撃をしかける。鈴木が中盤を組み立て、工藤秀が右サイドを縦に抜けてコンサDFを崩しにかかる。



7分中盤でボールを受けた横山がきれいなターンから左サイドを突破。エリア内でグラウンダーのセンタリングを入れると、走り込んだ工藤秀がインサイドで合わせて先制点をあげる。コンサも渡辺友, 橋本の中盤がふんばり追加点を許さないが、FW阿部までの距離が遠くチャンスがなかなか作れない。啓北は左サイドを横山が再三かく乱しチャンスを作り出す。コンサもGK鴨川, DF谷口颯らが粘り1対0で前半を折り返す。後半立ち上がりコンサは田渕, 阿部らがチャンスメイクし啓北ゴールに迫る。一方の啓北は40分, Dゾーン付近で得たFKを鈴木がきれいにゴール左隅に決めコンサを突き放す。コンサも前線にボールを当て、中盤の橋本, 田渕が組み立て、阿部がフィニッシュという形を作るもゴールがなかなか割れない。終盤のポジションはコンサが上回るものの1点が遠く、啓北が2対0で勝利し5位に浮上、ブロックユースへの出場権を土壇場で獲得した。



ベストイレブン

GK 越田 翔吾 (広陵中学校3年)

DF 坂牛 惇平 (広陵中学校3年)

鈴木 佑晟 (永山中学校3年)

中村 宏務 (北門中学校3年)

MF 西池 飛来 (広陵中学校3年)

山本 悠斗 (忠和中学校3年)

幸田 玄 (永山中学校3年)

伊藤 和稀 (北門中学校3年)

FW 小原 風輝 (広陵中学校3年)

小林 侑太 (広陵中学校3年)

得永 直史 (北門中学校3年)

優秀選手

GK 中村 昂永 (北門中学校2年)

李 奎旻 3年 (稚内南中学校3年)

DF 池田 経孝 3年 (啓北中学校3年)

能代 響 3年 (北門中学校3年)

長谷川 颯 3年 (緑が丘中学校3年)

枝園 涼太 2年 (コンサ旭川2年)

増子 太一 3年 (永山中学校3年)

MF 秋葉 一輝 3年 (啓北中学校3年)

工藤 秀矢 3年 (啓北中学校3年)

甲斐 直樹 3年 (広陵中学校3年)

漆畑 真 3年 (忠和中学校3年)

芳野 研次 3年 (忠和中学校3年)

瀧川 隆成 3年 (北門中学校3年)

畑 歩夢 2年 (北門中学校2年)

笠井 歩希 3年 (緑が丘中学校3年)

斎藤 拓麻 3年 (緑が丘中学校3年)

大沼 慶次 3年 (稚内南中学校3年)

FW 熊谷 涼平 3年 (広陵中学校3年)

藤原 大地 3年 (広陵中学校3年)

芝崎 龍都 2年 (忠和中学校2年)

佐々木 湧哉 3年 (永山中学校3年)

板橋 優磨 2年 (永山中学校2年)

三好 悠人 3年 (緑が丘中学校3年)

阿部 溪輔 2年 (コンサ旭川2年)

櫻井 伶央那 3年 (稚内南中学校3年)

得点王

伊藤 和稀 (北門中学校3年) 25点

小林 侑太 (広陵中学校3年)

得点ランキング

1 伊藤 和稀 (北門中学校3年) 25点

小林 侑太 (広陵中学校3年)

3 小原 風輝 (広陵中学校3年) 20点

4 熊谷 涼平 (広陵中学校3年) 13点

5 山本 悠斗 (忠和中学校3年) 10点

藤原 大地 (広陵中学校3年) 3年

7 阿部 溪輔 (コンサ旭川2年) 9点

芳野 研次 (忠和中学校3年)

笠井 歩希 (緑が丘中学校3年)

10 得永 直史 (北門中学校3年) 8点

幸田 玄 (永山中学校3年)

12 工藤 秀矢 (啓北中学校3年) 6点

佐々木 湧哉 (永山中学校3年)

板橋 優磨 (永山中学校3年)

15 瀧川 隆成 (北門中学校3年) 5点

井上 晃太郎 (広陵中学校3年)

三好 悠人 (緑が丘中学校3年)

18 田中 優雅 (コンサ旭川2年) 4点

中村 宏務 (北門中学校3年)

横山 耀 (啓北中学校2年)

大友 海斗 (啓北中学校3年)

西池 飛来 (広陵中学校3年)

大沼 慶次 (稚内南中学校3年)

櫻井 伶央那 (稚内南中学校3年)

長谷川 颯 (緑が丘中学校3年)

26 板谷 直智 (コンサ旭川1年) 3点

能代 響 (北門中学校3年)

芝崎 龍都 (忠和中学校2年)

秋葉 一輝 (啓北中学校3年)

成田 漢斗 (稚内南中学校2年)

北川 拓海 (永山中学校2年)

32 漆畑 真 (忠和中学校2年) 2点

吉田 拓真 (稚内南中学校2年)

日詰 雄貴 (稚内南中学校1年)

斎藤 拓麻 (緑が丘中学校3年)

鈴木 佑晟 (永山中学校3年)

37 高橋 大翔, 田渕 亘起 (コンサ2年)

今野 駆 (コンサ3年) 鈴木 三平 (忠和2年)

谷口 明典, 渡部 陽 (コンサ1年)

森 淳紀 (北門3年) 高柳 稔 (北門2年)

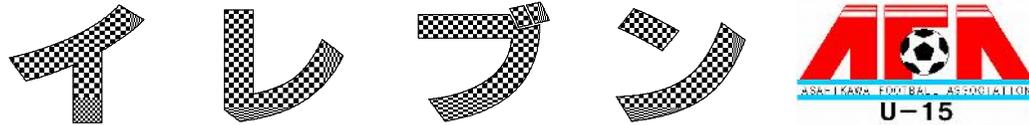
設楽 海斗, 安口 葵 (忠和3年)

鈴木 周人, 上野 嵐 渚 (啓北2年)

中里 海斗, 池田 経孝 (啓北3年)

川崎 詞音 (稚南3年) 仁木 祐吾 (緑丘2年)

鏡 有輝 (緑丘3年) 増子 太一 (永山3年)



平成26年3月8日発行

北門、永山などが順当に準決勝進出！

平成25年度高円宮杯第25回北海道ユース道北ブロック大会

第25回高円宮杯北海道ユース道北ブロック大会道北ブロック大会は、9月14日にカムイの杜公園で1回戦8試合が行われ、永山、緑が丘、北門といったブロックカブス上位チームが順当に勝ちました。ブロックカブス同士の稚内南と啓北は1対1からのPK戦で稚内南が競り勝ち準決勝進出を決めました。

1回戦 9月14日(土)カムイの杜

永山3-0(1-0)附属

得点者 鈴木祥(8分)、板橋(52分、69分)(永)

永山 GK 大沼 DF 堂谷、山崎、鈴木佑、増子 MF 森、北川、幸田、

鈴木祥(木村、布施) FW 佐々木、板橋

附属 GK 阿野 DF 藤井、春木、佐々木、長瀬 MF 海谷、宮川、木村、松本

FW 滝澤、山下(浅野)

立ち上がり、両チームとも様子をうかがいながら試合が進む。永山は両サイドのスペースを狙い、附属は木村から滝澤への縦パスからリズムをつかもうとする。8分北川のパスからオーバーラップした堂谷がグラウンダーのクロス。これを中央で待っていた鈴木祥がダイレクトで決めて永山が先制点を奪う。その後もポジション率で勝る永山が優位に進めるも、長瀬を中心とした附属のDFラインがしのいでチャンスを持つ。前半終了間際には長瀬のドリブルからカウンターに出、海谷がシュートを放つが外れ前半は1対0で折り返す。後半に入り、木村のシュートのきっかけに附属がリズムをつかみだす。しかし、52分永山が貴重な追加点をあげる。前線に進出した堂谷が布施からのパスを受け、クロスボールを入ると、ゴール前に走り込んだ板橋がコントロールし、正面から冷静にゴールに流し込む。さらに69分には幸田のFKを板橋が頭でフリックして再びゴール。3対0で永山が勝ち準決勝に進出した。



緑が丘3-0(2-0)東明

得点者 斎藤(10分)、鏡(22分、69分)(緑)

緑が丘 GK 青山 DF 長谷川、仁木、中島、上田 MF 鏡、深野、堀、斎藤 FW 三好、

笠井 交代/平泉、杉本、伊藤、西川

東明 GK 山本佳 DF 後藤、太田、山岡、渡辺 MF 藤田、栢木、岩城、

宿谷(野村、斎藤)、谷垣(畠山) FW 澤田

立ち上がりは互角の展開だったが、9分北門は相手の隙をつき、瀧川がミドルシュートを決める。さらに14分には得永のCKから中村宏が得点し2対0とする。勢いに乗る北門は19分得永が中央からミドルシュートを決めて3対0とする。潮見が丘も24分、左サイド吉田拓からのセンターリングを杉浦が合わせて1点を返す。しかし、北門は27分高柳からのパスを受けた能代が4点目、30分には得永のCKから中村宏がこの日2点目の得点を決める。後半になっても北門の攻撃は続き、54分荒瀬が決めると、65分には井上がトドメを刺す7点目。7対1で北門がブロックカブス2位の貫禄を見せた。



北門7-1(5-1)潮見が丘
得点者 瀧川(9分)、中村宏(14分、30分)、得永(19分)、能代(30分)、
荒瀬(54分)、井上(65分)(北) 杉浦(24分)(潮)

退場 阿部(潮)

警告 森(北)

北門 GK 中村昂(石崎) DF 森淳、中村宏(田中)、大西、釜土(鈴木颯)

MF 瀧川(井上)、能代(後藤)、畑(岡)、伊藤和(石澤)、高柳(荒瀬)

FW 得永(鈴木恭)

潮見が丘 GK 阿部 DF 藤原、五十嵐、土岐、鈴木(齋藤) MF 藤村、阪根、吉田拓、

吉田晃 FW 堀金(横山)、杉浦

前半最初にチャンスを作ったのは東明。後藤、岩城らが果敢に攻撃をしかけ、緑が丘ゴールに迫る。しかし、ピンチをしのいだ緑が丘は10分、三好がドリブルでペナルティエリア内に侵入。相手DFのカットしたボールを鏡が拾ってグラウンダーでセンターリング。ゴール前に走り込んだ斎藤が合わせて先制点を奪う。22分緑が丘は三好が左サイドからドリブルでペナルティエリア深くに侵入し、ゴール前の鏡にセンターリング。鏡は落ち着いて合わせて2点目を奪う。後半、1点を返したい東明は岩城を中心に反撃をしかける。43分には敵陣でボールを奪った岩城がシュート、48分には澤田がシュートを放つなどするがゴールは奪えない。逆に緑が丘は追加タイム。CKからのクリアミスで鏡がダイレクトで合わせてだめ押し3点目を奪い、ベスト4へと進んだ。



稚内南1-1(1-1)<PK4-3>啓北

得点者 吉田(2分)(稚) 横山(13分)(啓)

警告 鈴木、大沼(稚) 若田、池田(啓)

稚内南 GK 李 DF 清水、辻口、鈴木、大江 MF 大沼、成田、吉田 FW 櫻井、川崎、

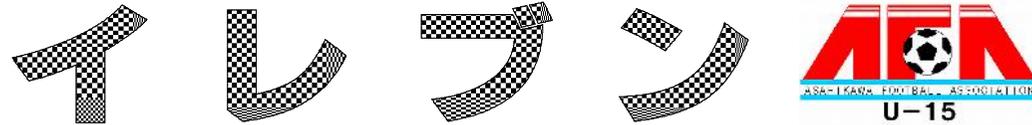
日詰

啓北 GK 見角 DF 林、高橋、中里、池田 MF 鈴木、若田直、秋葉一(久保田)、

深見 FW 横山、大友(工藤秀)

前半ファーストシュートを稚内南が放つなど、立ち上がりから圧力をかけ縦へ速い展開をする。一方啓北は厳しくプレスをしかけ、ロングフットでDFの背後を狙う展開。ゲームは開始2分に速くも動く。DFラインのギャップをつき、大沼がスルーパス。啓北DFも懸命にクリアするが、2列目にポジションをとっていた吉田が落ちてシュートを決め稚内南が先制する。しかし、啓北は13分左CKを鈴木がスワープをかけてゴール前へ。GKの鼻先で若田直がコースを変え、同点シュートを決める。その後は一進一退の攻防となる。稚内南は成田のFKがゴールバーにあたるなどやや押し気味に試合を進めるが得点ならず1対1で前半を折り返す。後半も両チーム縦に速い攻撃を見せる。やや疲れが見えてきた稚内南に対し、啓北は工藤秀を投入。その工藤秀が右サイドをドリブルで崩し始め、啓北がチャンスをつかみ出す。しかし、稚内南もカウンターから大沼が鋭いドリブルを見せ、啓北守備陣を慌てさせる。成田のFKがバーにはじかれるなど、両チーム得点を奪うことができず試合はPK戦へ。PK戦ではGK李が啓北の2本のキックをストップする活躍を見せ、4対3で勝利。準決勝へと駒を進めた。





平成26年3月8日発行

北門が永山に勝ち、4年連続の全道ユースへ！

平成25年度高円宮杯第25回北海道ユース道北ブロック大会

第25回高円宮杯北海道ユース道北ブロック大会道北ブロック大会は、9月16日にカムイの杜公園で決勝が行われました。決勝は昨年度の北海道ユース出場チーム同士の対戦となった北門と永山のカード。永山が12分幸田の得点で先制しましたが、北門は後半反撃。36分伊藤のFKで同点に追いつくと、45分には伊藤のアシストから石澤が決勝点を蹴り込み、4年連続の北海道ユース出場を決めました。

決勝 9月16日(月)カムイの杜サッカー場

北門 2-1 (0-1) 永山

得点者 伊藤 (36分), 石澤 (45分) (北) 幸田 (12分) (永)

警告 佐々木, 山崎 (永)

北門 GK中村昂 DF森淳, 中村宏, 大西, 釜土 (田中) MF瀧川, 能代, 畑, 伊藤和, 高柳 (石澤) FW得永

永山 GK大沼 DF堂谷, 山崎, 鈴木佑, 増子 MF森, 北川, 幸田, 鈴木祥 (布施) FW佐々木, 板橋

ブロックカブスの2位3位が順当に勝ち上がった決勝。雨のためスリッピーなピッチコンディションだが、両チームともシンプルにボールを動かし、DFラインの背後のスペースを狙う。北門は能代、高柳の両アウトサイドからのクロスに対し、ワントップの得永がダイアゴナルに侵入しチャンスをつくる。永山は幸田と佐々木のホットラインからシュートチャンスを作る。ゲームが動いたのは12分、北門陣内でボールを奪った佐々木の絶妙なスルーパスにタイミングよく走り込んだ幸田がドリブルから先制点を決める。その後も永山は幸田を中心に攻撃を進め、佐々木のヘッドなどで北門ゴールを再々脅かすが、GK中村昂の好セーブと、ブロックを形成した集中した守備で追加点を与えない。後半立ち上がり、激しいプレスをしかけ、攻勢に出る。この気迫から得たFKを伊藤が地を這うような強烈なシュートで直接決めて開始1分で同点に追いつく。この1点で北門がペースを握り始め、永山陣内で攻め込む。45分、中盤で田中が左サイドのスペースに飛び出した伊藤にスルーパス。伊藤が折り返すと無人のゴールに石澤が流し込み逆転に成功する。その後も北門は67分にPKのチャンスを得るなど、前がかりになった永山の背後を突いてカウンターからチャンスを得る。永山もCK, FKからチャンスをつかむが一步及ばず。2対1で北門が勝ち、4年連続で高円宮杯北海道ユースへの出場権を獲得した。



準決勝 9月15日(日)カムイの杜サッカー場

北門 3-1 (2-0) 稚内南

得点者 能代 (17分, 63分), 伊藤 (22分) (北) 大沼 (67分) (稚)

北門 GK中村昂 DF森淳, 中村宏, 大西, 釜土 MF瀧川, 能代, 畑, 伊藤和, 高柳 FW得永

稚内南 GK李 DF清水, 辻口, 鈴木, 大江 MF大沼, 成田, 吉田 FW櫻井, 川崎, 日詰

ピッチに水が浮く悪コンディションのため、ショートパスが繋がらず、両チームともパス回しに苦慮する。北門は得永が下がり気味で起点となりサイドへ展開する。17分北門は右サイドで粘った得永がグラウンダーのセンタリング。能代が合わせて先制点を奪う。さらに22分には得永の右CKから伊藤がヘッドで合わせて2点目をあげる。稚内南も成田、

大沼からのロングフィードから活路を見いだそうとするが得点には至らない。後半開始早々には成田は決定的なヘディングシュートを放つが、北門GK中村昂に阻まれる。一進一退の攻防が続く中、北門は63分伊藤が正確なアーリークロスを送ると、能代がこの日2点目のゴールを決め、稚内南を突き放す。67分稚内南も櫻井の横パスから大沼が決めて1点を返すが反撃もここまで。北門が2年連続で決勝に進んだ。



永山 4-1 (2-1) 緑が丘

得点者 幸田 (8分), 山崎 (10分), 板橋 (54分, 69分) (永) 長谷川 (10分) (緑)

永山 GK大沼 DF堂谷, 山崎, 鈴木佑, 増子 MF森, 北川 (上野), 幸田, 鈴木祥 (木村) FW佐々木, 板橋

緑が丘 GK青山 DF長谷川, 仁木, 中島, 平泉 MF鏡, 深野, 堀, 斎藤 FW三好, 笠井

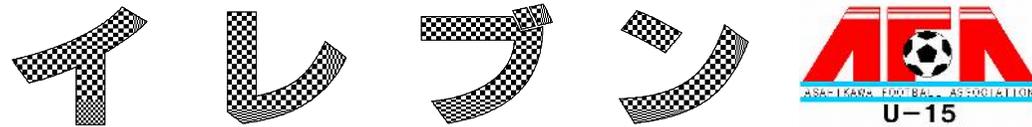
Aピッチよりもさらに悪いコンディションで、グラウンド全体に水たまりができ、キックも思うように飛ばない状態。互いに敵陣深くボールを蹴り込み、キック&ラッシュで攻撃をしかける。永山は8分左サイドで得たFKを山崎がゴール前にあげると、緑が丘DFのファウルを得てPKを得る。これを幸田が決めて先制点を奪う。緑が丘は10分笠井が右サイドを突破しようとしたところでFKを得る。これを長谷川が見事に直接たたき込み同点とする。その後は互いに中盤での陣地の奪い合いとなったが、24分幸田の右CKを皮切りに佐々木のシュートのこぼれ球を山崎が押し込んで再び永山がリードを奪う。その後もなかなかシュートには至らない展開だったが、54分永山は幸田が中央からスルーパスを送ると、走り込んだ板橋がゴール左隅に貴重な追加点をあげる。この1点で楽になった永山は69分には板橋が中央からミドルシュートを決め、4対1で勝利。永山が2年ぶり3度目の決勝へと駒を進めた。



4年連続北海道ユース出場を決めた北門中学校



第2位の永山中



平成26年3月8日発行

北門とコンサが決勝に進出！ 平成25年度イレブン杯サッカー大会

平成25年度イレブン杯サッカー大会は、9月21日に準決勝2試合が行われ、北門とコンサが決勝に進みました。

準決勝 9月21日(土) 神楽中学校

北門 1-0 (1-0) 神楽

得点者 能代 (20分) (北)

北門 GK中村昂 DF森, 中村宏, 大西, 釜土 MF瀧川, 能代, 畑, 得永 FW石澤, 伊藤和 交代/FP高柳, 田中

神楽 GK谷口 DF坂本, 田中館, 遠藤, 高橋 MF井上, 長田, 斉藤, 藤本, 林輝 FW佐々木 交代/FP林大, 坂上, 原田, 星野, 菅原

両チームともやや集中力を欠き、パスミスが目立った序盤。北門は中盤で得永がボールをさばきながら、伊藤とのコンビネーションからリズムをつかみ、右の瀧川、左の能代とからんで攻撃をしかける。一方神楽は、坂本、遠藤のCBコンビを中心に北門の攻撃陣をよく抑えながら、中盤では斉藤が奮闘。カウンターからチャンスをねらう。なかなか決定機を作り出せなかった北門は20分、中村宏のサイドチェンジから能代が左サイドでDFを抜き去って左足で角度のないところからゴール右隅に先制点を決める。1点を奪われた神楽は中盤でボールを拾い始め、斉藤がシュートを放つなど押し気味に試合を進めるが、北門も中村宏、大西を軸に得点を与えない。後半は、高柳の走り出しの速さから追加点を狙う北門は、伊藤、得永らが好シュートを放つも神楽GK谷口に阻まれる。神楽も佐々木、井上らが北門陣内に迫るが1点が遠くタイムアップ。北門が決勝へと駒を進めた。



花咲球技場

コンサ旭川 1-0 (0-0) 忠和

得点者 上田 (44分) (コ)

コンサ GK佐々木亮 DF上田, 小松, 水口, 谷口 MF吉田, 高野, 橋本 FW板木, 桑辺, 末永 交代/FP野口, 佐々木悠, 渡辺友

忠和 GK岡本 DF渋谷, 設楽, 山田, 岩崎 MF山本, 安口, 漆畑, 芳野 FW田中, 芝崎 交代/FP武内

前半コンサは板木、末永らを中心にゲームを作り、ボールを支配。何度もチャンスを作るも、忠和GK岡本が好セーブを見せピンチを救う。44分コンサはゴール正面の絶好の位置でFKを得る。板木の素早いリスタートから上田につながりゴール。これが決勝点となり、コンサが決勝へと駒を進めた。

永南、東明が首位を守る。

平成25年度あさひかわ新聞杯第3回旭川・道北地区カブスリーグU-15(後期)

平成25年度あさひかわ新聞杯第4回旭川・道北地区カブスリーグU-15後期は、9月7日、花咲球技場などで第10節が行われました。グループAでは永山南が、グループBでは東明がともに勝ち、首位を走っています。

第10節 9月7日(土) 上富良野富原運動公園

B 愛宕 8-2 (5-2) 上富良野 室井 (5分, 16分, 17分, 36分, 43分), 石崎 (8分), 滝ヶ平 (23分, 44分) (愛) 林優 (11分), 遠藤 (24分) (上)

A 永山南 4-0 (2-0) 富良野西 塚本 (14分, 32分), 谷口 (16分), 大杉 (31分) (永)

A 富良野東 1-0 (0-0) 東陽 藤井 (11分) (富)

B 光陽 10-2 (3-2) 中富良野 星 (5分), 坂本 (11分), 原田 (26分, 34分, 48分), 斉藤 (44分, 59分), 上家 (38分), 畠山 (37分, 52分) (光) 石山 (20分), 岩本 (28分) (中)

名寄健康の森

A 附属 4-2 (3-0) 士別FC 海谷 (13分), 浅野 (28分), 長瀬 (29分), 滝澤 (49分) (附) 由井 (53分), 大津 (54分) (士) [警] 長瀬 (附)

B 美深 8-7 (4-2) 六合 瀬川 (3分, 46分, 55分), 武藤 (5分, 19分, 33分), 内山 (23分, 39分) (美) 濱嶋 (24分), 中村孔 (36, 59分, 59分), 山崎 (37分, 57分, 58分) (六)

花咲球技場

C 東神楽 3-0 (1-0) 忠和2nd 高橋 (13分), 菊地 (34分), 坂上 (53分) (東)

C 啓北2nd 5-0 (4-0) 北都 菊地 (2分), 平野友 (8分, 15分), 細川 (27分), 久保田 (45分) (啓)

B 東明 2-1 (2-0) 春光台 澤田 (3分, 29分) (東) 本間 (40分) (春)

A 神楽 5-1 (1-1) 東光 佐々木 (9分, 43分, 51分), 林輝 (52分), 谷口 (55分) (神) 土田 (4分) (東) [警] 佐藤 (東)

第10節は、上富良野運動公園など3会場で10試合が行われました。富原運動公園での第1試合は愛宕が室井の5得点の活躍などで無敗の上富良野に8対2で大勝しました。富良野西と対戦した永山南は、14分佐藤のクロスが塚本がヘッドで先制点をあげると、16分には吉田翔心のパスから谷口が追加点。その後も大杉、塚本と加点し、4対0の勝利。暫定2位に出ました。第3試合は前半は無得点でしたが、41分富良野東藤井がペナルティエリア内で振り向きざまにシュートを決め1対0で勝利。2勝目をあげました。光陽は斉藤のハットトリックなどで大量10点を奪い、中富良野に大勝。暫定2位に浮上しました。

名寄健康の森での第1試合は、附属が序盤から得点を重ね、49分までに海谷、浅野などの得点で4点を奪います。士別FCも終盤由井らが得点しますが及ばず、附属が4対1で勝ち、3連勝を飾りました。美深と六合は記録的な点の取り合いとなりました。美深は瀬川と武藤、六合は中村孔と山崎と4人がハットトリックを完成させる試合となりましたが、美深が8対7で六合を振り切りました。

花咲球技場の第1試合では東神楽は忠和2ndを高橋のゴールなどで3対0で破り、暫定ながら首位に出ました。啓北2ndは平野友の2得点などで北都に5対0で快勝。勝ち点7とし、上位に浮上してきました。第3試合では東明が春光台と対戦。3分宿谷のクロスが澤田がヘッドで決め先制した東明は、29分には山岡からのロングフィードを受けた澤田が抜け出し追加点をあげます。しかし、40分鈴木シュートのこぼれ球を本間が詰めて春光台も1点差に追いつきます。試合はこのまま2対1で終了。東明が首位を守りました。神楽対東光は阿部のパスを受けた土田が4分に先制点をあげます。しかし、その後佐々木のハットトリックなどで神楽は東光に逆転勝ち。首位の座を保っています。



平成26年3月8日発行

永南6連勝。光陽も暫定2位に上がる。

平成25年度あさひかわ新聞杯第3回旭川・道北地区カブスリーグU-15(後期)

平成25年度あさひかわ新聞杯第4回旭川・道北地区カブスリーグU-15後期は、9月8日から16日にかけて第11節から第13節までが行われました。

第11節9月8日(日) 上富良野富原運動公園

B 上富良野3-2(2-2) 明星 遠藤(6分), 林優(20分), 谷(46分)(上)
坂本(2分), 菅原(14分)(明)

B 東 明1-0(1-0) 中富良野 藤田(20分)(東)

A 神 楽6-3(4-1) 富良野西 藤本(11分), 佐々木(25分, 45分), 谷口(27分),
林輝(29分), 石井(57分)(神) 尾崎(21分, 50分, 59分)(富)

A 東 光1-0(1-0) 富良野東 山田(29分)(東)

聖園中学校

A 愛宕2nd3-0(1-0) 聖園 山村(12分), 相澤(34分), 日置(52分)(愛)

B 神 居2-0(0-0) 東神楽 藤本(54分, 57分)(神)

B 増 毛1-0(1-0) 士別FC 木戸(11分)(増)

花咲球技場

D 北 星2-1(0-1) 光 陽 西田(31分), 尾崎(59分)(北) 坂本(3分)(光)

A 附 属1-0(1-0) 神居東 木村(13分)(附)

B 六 合3-0(0-0) 春光台 中村孔(35分), 高橋(36分), 中村彬(47分)(六)

第11節は、花咲球技場など3会場で10試合が行われました。花咲球技場の第1試合では北星と光陽が対戦。3分に坂本のミドルシュートで先制した光陽ですが、北星はスピードを生かした攻撃で反撃。31分尾崎のクロスから西田が同点シュートを決めると、終了間際小野のスルーパスに抜け出した尾崎が決勝点を決め2勝目をあげました。第2試合は13分安尾のグラウンダーのパスを滝澤がつないで木村が決勝点を奪い1対0で附属が神居東に勝利。4連勝で3位に浮上しました。六合は中村彬、中村孔の前のスペースを有効に使い、攻撃をしかけ、後半に爆発。35分に中村孔が先制点を決めると、36分高橋、47分中村彬と得点し、春光台を3対0で下して、3勝目をあげました。

愛宕会場の第1試合は12分に山村の得点で先制した愛宕が、34分相澤、52分日置と得点し3対0で勝利。聖園も小沼、清井がゴールを目指しますが及びませんでした。神居は中原を中心に、藤本、新井が走りチャンスを作りませす。東神楽も庄野、木村を中心にカウンターから攻撃を仕掛けます。試合は54分小山のパスから藤本が抜け出て先制点をあげると、57分にも再び藤本がゴールし、神居が2対0で勝ちました。増毛と士別FCは11分に太田のセンターリングを木戸が決めて決勝点を奪った増毛が1対0で勝ちました。

富原運動公園での第1試合は点の取り合いとなりましたが、谷からのパスを受けた林優の得点で同点に追いついた上富良野が、46分谷が左サイドから切れ込んで決勝点を奪い3対2で勝利。暫定2位に躍り出ました。東明は20分に長いドリブルから藤田が決勝点をあげ、中富良野に1対0で勝利。勝ち点20で首位を走っています。神楽は11分の藤本の先制点を皮切りに佐々木、谷口などが加点し6得点。富良野西も尾崎がハットトリックを決め追いつぎますが、及ばず神楽が6対3で勝利。7連勝を飾りました。東光は29分の山田のミドルシュートであげた1点を守りきり、3勝目をあげました。

第12節 9月14日(土) 花咲球技場

D 東 川14-0(8-0) 聖園 景井(9分, 14分), 金山(19分, 20分, 41分, 44分),
栗林(22分, 23分, 32分), 十河(27分), 高橋(29分, 52分),
O・G(49分, 51分)(東)

B 春光台3-2(0-0) 明星 小野寺(51分), 川上(57分), 鈴木(59分)(春)
竹中(31分), 矢口(34分)(明)

A 増 毛2-0(1-0) 当麻FC 杉山(25分), 青山(33分)(増)

A 永山南6-0(4-0) 東 陽 鈴木(1分), 須藤(6分), 吉田翔哉(16分, 52分),
森永(17分), 鈴木(31分), (永) [警] 森永(永)

B 愛 宕1-0(1-0) 北 星 滝ヶ平(13分)(愛)

第12節は花咲球技場で5試合が行われました。第1試合は東川の攻撃陣が大爆発。金山と栗林がハットトリックを完成するなど14対0で大勝しました。第2試合は矢口と菅原の2トップで攻撃する明星が31分竹中、34分矢口と得点し優位に試合を進めましたが、本間を中心として春光台が反撃。51分小野寺、57分川上と得点し、追加タイムに本間のシュートのこぼれ球を鈴木が蹴り込んで10分間で2点差をひっくり返しました。第3試合は増毛が25分に杉山の得点で先制すると、33分には青山が追加点を奪い2対0で当麻をくだしました。永山南は1分に鈴木のゴールで先制するとその後着々と加点。吉田翔哉の2得点などで東陽を6対0で破りました。愛宕は13分に滝ヶ平があげた1点を守りきり、北星を破りました。

第12節 9月15日(日) 神居東中学校

A 永山南5-1(4-0) 神居東 塚本(5分, 19分), 森永(16分, 29分),
谷口(37分)(永) 吉澤(59分)(神)

D 東 川3-0(3-0) 美 瑛 金山(6分, 20分), 栗林(8分)(東)

当麻グリーンヒル

A 東 光8-0(4-0) 当麻FC 山田(5分), 土田(8分, 23分, 44分),
阿部(14分, 41分, 47分), 佐藤(54分)(東)

B 春光台1-0(1-0) 鷹 栖 本庄(23分)(春)

B 光 陽2-1(1-1) 明 星 原田(29分), 斉藤(59分)(光) 及川(19分)(明)

留萌浜中運動公園

C 北 都3-3(1-1) 留 萌 宮崎(18分), 古屋(33分), 菅原(45分)(北)
土井(28分), 川崎(38分), 佐賀(57分)(留) [警] 坂本(北)

A 増 毛2-0(1-0) 東 陽 藤原(25分, 59分)(増)

第12節は当麻グリーンヒルなど3会場で8試合が行われました。当麻グリーンヒルでの第1試合では東光が土田、阿部のハットトリックなどの活躍で7対0で当麻FCに快勝しました。春光台は23分に本庄がループシュートを決めて決勝点。鷹栖も西野に縦パスを入れて攻撃しますが、及びませんでした。光陽対明星は、明星及川が19分に先制点をあげますが、光陽は畠山の2アシストから27分原田、終了間際の59分には斉藤が決めて逆転勝ちに成功しました。

神居東会場の第1試合は雷で一時中断する中、永山南塚本と森永が前半にそれぞれ2得点し、神居東を5対1で下して初戦で敗れた後6連勝を飾っています。東川は金山の2得点と栗林の得点で美瑛を3対0で破り、ピタリと名寄SCを追走しています。

留萌浜中運動公園での第1試合は北都が点を取ると、留萌がそのたびに追いつくという展開。3度北都がリードを奪いますが、留萌は57分に佐賀が中央突破から3度目の同点弾をたたき込みドローに持ち込みました。増毛は藤原の2得点の活躍で、東陽に勝利しました。

第13節 9月16日(月) 忠和中学校

C 忠和2nd4-2(3-1) 留 萌 今野(4分, 14分, 16分, 53分)(忠)
佐賀(27分), 大石(55分)(留)

B 中富良野5-2(2-1) 北 星 奈良岡(6分, 12分, 34分), 岩本(26分),
植田(50分)(中) 小野(10分, 59分)(北)

A 附 属3-0(0-0) 東 陽 滝澤(37分, 48分), 佐々木(57分)(附)

花咲球技場

A 東 光1-1(0-1) 神居東 阿部(29分)(東) 今野(42分)(神)

B 光 陽1-0(0-0) 春光台 原田(41分)(光)

B 六 合4-0(4-0) 鷹 栖 中村彬(2分, 29分), 中村孔(13分, 23分)(六)

第13節は降りしきる雨の中、忠和中学校3年と花咲球技場で6試合が行われました。忠和中学校の第1試合では、忠和2ndの今野が4分の先制点を皮切りに前半だけでハットトリックを完成し4得点の活躍。留萌も佐賀と大石で2点を返しましたが、及びませんでした。第2試合は中富良野奈良岡がハットトリック。終盤には岩本と植田も加点し5得点。北星を小野の2点に抑えて勝利しました。第3試合は二日前にブロックユースを戦った附属がハードスケジュールにも負けず滝澤の2得点などで東陽に快勝しました。

神居東会場の第1試合は、東光が29分に阿部の得点で先制します。神居東も42分FKのこぼれ球を今野がつめてドローに持ち込みました。光陽は41分混戦の中から原田が決勝点を奪い、中位争いの直接対決に勝ち、暫定2位に浮上しました。六合は中村彬、中村孔のコンビで4点を奪い鷹栖に快勝、4位に上がりました。



平成26年3月8日発行

地区カブスルートは神居が首位に！

平成25年度あさひかわ新聞杯第3回旭川・道北地区カブスリーグU-15(後期)

平成25年度あさひかわ新聞杯第4回旭川・道北地区カブスリーグU-15後期は、9月21日からの3連休で第14節から16節までの3節が行われました。地区カブスルートでは神居がJ-ELMに快勝し、首位に躍り出ました。

第14節 9月21日(土) 広陵中学校
B FC広陵 1-0 (0-0) 北門2nd 安念 (59分) (広)
D 中富良野 3-2 (1-2) 美深 奈良岡 (4分, 47分), 結城 (32分) (中) 瀬川 (7分, 8分) (美)

神楽中学校
A 永山南 1-0 (1-0) 東光谷口 (20分) (永)
花咲球技場
B 上富良野 3-1 (0-0) 春光台谷 (51分), 林優 (59分), 陣内 (59分) (上)
本間 (47分) (春) [警] 石田奨 (上)

A 富良野東 5-0 (2-0) 増毛 越前 (18分), 馬場 (23分, 47分), 高橋 (40分, 48分) (富)

第14節は広陵中学校3年) など3会場で5試合が行われました。広陵中学校3年) の第1試合は、北門2ndが優勢に試合を進めましたが、59分安念の決勝点により、FC広陵が勝利を収めました。中富良野は20分に奈良岡のヘッドで先制します。美深は7分, 8分瀬川が連続得点し一旦は逆転します。しかし後半中富良野が反撃。32分に0・Gで同点にすると、47分には奈良岡がまたしてもヘッドで決めて試合を決めました。

神楽会場は谷口を中心に攻撃をしかける永山南が押し気味に試合を進め、20分その谷口の決勝点により永山南が1対0で勝ちました。

花咲球技場で行われた上富良野と春光台は、両チーム無得点で進んだ47分、本間がドリブルから先制点を決め春光台が先制します。しかし、上富良野は51分谷が同点シュートを決めると、終了間際には林優と陣内が得点し3対1で逆転勝ちしました。富良野東は18分に越前が先制すると、馬場と高橋がそれぞれ2得点し、増毛に5対0で快勝しました。

9月22日(日) 永山中学校
C 緑が丘2nd 2-1 (1-0) J-ELM永山 栗林(19分), 遠藤 (59分) (緑)
木内 (53分) (永) [警] 池田(緑)
D 北門2nd 5-0 (3-0) 愛宕2nd 沖 (20分, 40分), 荒瀬 (26分, 29分, 57分) (愛)

花咲球技場
C 忠和2nd 4-0 (3-0) 啓北2nd 大浪 (10分, 15分, 29分, 35分) (忠)
[警] 久保田 (啓)

D 東川 1-0 (0-0) FC広陵 高橋 (43分) (東)
D 美瑛 7-0 (4-0) 聖園 0・G (4分), 保田 (7分, 17分, 30分), 渡邊 (26分), 松家 (42分), 山田 (46分) (美)
A 附属 1-0 (1-0) 神楽 滝澤 (26分) (附)

第15節は花咲球技場と永山中学校3年) で6試合が行われました。緑が丘2ndとJ-ELM永山の対戦は、緑が丘栗林が19分に先制します。後半押し気味に試合を進めたJ-ELMは53分木内がFKを直接決め同点に追いつきましたが、59分緑が丘遠藤がこちらでもFKを直接決めて2対1で勝ちました。第2試合は荒瀬のハットトリックと沖の2得点1アシストの活躍で北門2ndが愛宕2ndに快勝しました。

花咲球技場の第1試合は大浪が忠和の全得点4点をたたき出し、啓北2ndを破りました。東川は43分に混戦から高橋が押し込んで決勝点をあげ、FC広陵を破りました。美瑛が保田のハットトリックなどで聖園に7対0で大勝しました。首位攻防戦の附属と神楽は、サイドを有効に使う攻める神楽としっかり守ってカウンターをしかける附属という図式になりました。26分附属滝澤が決勝点を奪い、天王山に見事勝利しました。

第16節 9月23日(月) 愛宕中学校
A 永山南 1-0 (0-0) 附属 鷲見 (58分) (永)
B 愛宕 4-3 (3-1) 中富良野 滝ヶ平 (4分, 19分, 43分), 菅野 (28分) (愛) 植田 (11分), 安喰 (52分), 奈良岡 (53分) (中)
B 鷹栖 1-0 (0-0) 光陽三國 (59分) (鷹)

A 富良野東 3-1 (3-1) 士別FC馬場 (3分), 越前 (12分, 16分) (富) 喜多 (6分) (士)
永山中学校
C 神居 2-0 (1-0) J-ELM永山 中原 (8分, 19分) (神)
B 東明 3-0 (2-0) 上富良野 澤田 (23分), 岩城 (29分, 37分) (東)
C 啓北2nd 1-1 (0-0) 緑が丘2nd 平野友 (46分) (啓) 渡部 (53分) (緑) [警]

大倉 (啓)
花咲球技場
C 忠和2nd 0-0 (0-0) 北都
B 六合 2-1 (0-0) 明星 中村孔 (37分), 高橋 (59分) (六) 矢口 (57分) (明)

B 北星 2-2 (1-0) 美深 佐藤 (15分), 西田 (55分) (北) 内山 (31分, 49分) (美)

A 東光 0-0 (0-0) 増毛
A 富良野西 2-1 (0-0) 東陽尾崎 (43分), 前田 (59分) (富) 伊藤 (35分) (東)

第16節は花咲球技場など3会場で12試合が行われました。愛宕会場の第1試合は永山南と附属という上位対決となりました。試合は永山南が押し気味に試合を進め、58分鈴木のパスを受けた鷲見が決勝点をあげ1対0で勝利。直接対決に勝ち、グループAを三つどもえの混戦に持ち込みました。第2試合は愛宕と中富良野が対戦。愛宕は滝ヶ平が4分の先制点を皮切りにハットトリックを完成。28分には菅野も得点し中富良野を4対3で下しました。鷹栖は59分、三國が決勝点をあげ光陽を1対0で破りました。富良野東は3分に先制点をあげたあと、士別FC喜多に同点シュートを浴びますが、12分、16分と越前が連続得点し、3対1で勝利しました。

永山中学校会場の第1試合は神居とJ-ELM永山が対戦。神居がスピードに乗った攻撃を見せ、8分、49分と中原が得点し2対0で勝ち、首位に躍り出ました。東明と上富良野の直接対決は、上富良野が谷を中心にボゼッションしますが東明はカウンターから対抗。23分に澤田が30mのロングシュートを決めると、29分、37分には岩城が連続得点し3対0で快勝。グループ1位に王手をかけました。啓北と緑が丘の2ndチーム同士の対戦は緑が丘が押し気味に試合を進めますが、46分啓北は藤原のパスを受けた平野友は先制点。しかし、緑が丘も前川原のスローインから渡部が53分に蹴り込んでドローに終わりました。

花咲球技場の第1試合は忠和2ndと北都が対戦。両チームともチャンスを作りますが生かす切れずスコアレスドローに終わりました。六合と明星は1対1で迎えた59分高橋が決勝PKを決めて六合が競り勝ちました。北星は15分佐藤の得点で先制しますが、美深内山に2点を決められ逆転を許します。しかし、55分西田が同点シュートを決めドローに持ち込みました。東光と増毛は、土田、阿部を中心に攻める東光ですが得点できず。スコアレスドローに終わりました。富良野西は1点リードを許した43分尾崎が同点弾を決めると、追加タイムに前田が決勝点を挙げ、東陽を振り切りました。





平成26年3月8日発行

神居、名寄SCが決勝トーナメントへ！

平成25年度あさひかわ新聞杯第3回旭川・道北地区カプスリーグU-15(後期)

平成25年度あさひかわ新聞杯第4回旭川・道北地区カプスリーグU-15後期は、9月28日、29日に上富良野富原運動公園などで第17節、第18節が行われました。地区カプスルートでは神居と名寄SCが決勝トーナメント進出を決めました。

第17節 9月28日(土) 上富良野富原運動公園

B 上富良野6-0(3-0) 鷹 栖 江嶋(17分, 28分), 畑内(18分), 林優(42分), 谷(47分, 53分)(上)

A 富良野東2-0(1-0) 富良野西 藤井(29分), 越前(47分)(東)

B 春光台6-0(3-0) 中富良野 山崎(10分, 16分, 26分, 50分), 本庄(42分, 57分)(春)

永山中学校

C 啓北2nd3-1(0-1) J-ELM永山 藤原(32分), 大間(40分), 細川(45分)(啓) 澤野(26分)(J)

C 緑が丘2nd2-1(1-1) 留 萌 河村遼(12分), 越田(46分)(緑)

佐賀(18分)(留) [警] 政二, 澤井(緑)

A 附属2-0(0-0) 増 毛 木村(3分), 滝澤(48分)(附)

名寄健康の森

A 士別FC1-0(1-0) 東 光 由井(14分)(士)

B 愛 宕7-2(3-2) 美 深 浅井(12分), 池田(13分), 菅野(16分, 59分), 滝ヶ平(40分), 中田(48分), 室井(56分), 中山(1分), 瀬川(29分)(美)

D 名寄SC19-0(6-0) 愛宕2nd

渡邊(7分, 19分, 25分, 33分, 37分, 39分, 51分, 59分), 佐藤誠(12分, 49分, 57分), 佐藤隆(22分), 山口(26分, 31分, 40分), O-G(59分), 木原(56分, 58分)(名)

花咲球技場

D FC広陵3-1(2-0) 美 瑛 桜井(18分, 29分, 51分)(広) 山田(54分)(広)

C 神 居4-0(2-0) 北 都

岸谷(14分), 工藤(27分), 菊地(40分), 藤本(45分)(神)

A 神居東4-4(3-0) 神 楽 吉澤(6分), 森田(18分, 26分), 佐々木(37分)(東) 三浦(35分), 谷口(45分), 斉藤(57分), 佐々木(59分)(楽)

B 六 合4-2(2-0) 北 星 高橋弘(20分), 中村孔(23分, 36分), 安栗(49分)(六) 小野(30分), 大瀧(52分)(神)

第17節は、永山中学校など4会場で13試合が行われました。永山中学校の第1試合では、J-ELM永山と啓北2ndが対戦。26分、平井のアシストから澤野が決めて先制したJ-ELM永山ですが、啓北は後半猛反撃。32分藤原が同点シュートを決めると、40分には大間がGKとの1対1を冷静に決めて逆転。45分には細川が駄目押しの3点目をあげ3対1で勝利。グループリーグ突破に望みをつなぎました。緑が丘2ndは12分河村遼が先制点をあげます。留萌も18分佐賀がミドルシュートを決めて同点に追いつきましたが、46分緑が丘は加藤のスルーパスから越田が決勝点をあげ2対1で勝利。3勝目をあげました。附属は木村、滝澤を中心に攻撃。33分に木村のPKで先制すると、48分には木村のスルーパスから滝澤がドリブルシュートを決めて2対0。増毛も藤原を中心に攻撃しますが及びませんでした。

名寄健康の森での第1試合は東光の猛攻をしのいだ士別FCが14分柴崎が倒されて得たPKを由井が決めて決勝点を奪いました。愛宕対美深は、美深中山が1分に先制点を奪います。しかし、愛宕は12分滝ヶ平が同点シュートを決めると、13分には池田、16分には菅野と決めて逆転。後半にも4点を加点し7対2で勝ち、4位に浮上しました。名寄SCは渡邊の8得点、佐藤誠と山口もハットトリックを決めるなど大量18点で1位に浮上しました。

花咲球技場の第1試合はFC広陵と美瑛が対戦。FC広陵は桜井がハットトリックの活躍。美瑛を山田の1点に抑えて勝ち、1敗を守りました。神居は野原、藤本をターゲットに攻撃。14分に岸谷が先制点を決めると、27分には工藤が加点。40分には菊地、45分藤本と着々と加点し4対0の勝利。グループリーグ1で決勝トーナメント進出を決めました。神楽と神居東は、6分波多のFKから吉澤が先制すると、18分にも波多のFKから森田が追加点。26分にも森

田が決めて神居東が前半で3点のリードを奪います。神楽も谷口のパスから三浦が決めて1点を返しますが神居東は37分佐々木が追加点をあげ再び3点差とします。しかし、神楽はここから驚異の粘りを見せ、藤本のアシストから谷口、斉藤が決めて1点差。追加タイムには長田のシュートのこぼれ球を佐々木がブッシュして同点に追いつきました。しかし、試合は4対4で終了。追いつきはしたものの、神楽は痛恨のドローで1位争いから一步後退しました。六合は20分高橋弘のFKから先制すると、23分、36分に中村孔が得点。49分には中村孔のアシストから安栗hが4点目。北門の反撃を小野と大瀧の2点に抑え3位に浮上しました。

上富良野富原運動公園での第1試合は上富良野が17分に江嶋の得点で先制すると、18分には谷のアシストから畑内が2点目。28分には畑内のパスから江嶋が得点し前半で3対0とします。後半にも3得点した上富良野が2位に返り咲きました。富良野対決となった第2試合は藤井と越前の得点で富良野東が2対0で勝ちました。春光台は山崎の4得点の活躍で、中富良野に大勝しました。



第18節 9月29日(日) 神楽中学校

C 緑が丘2nd1-0(1-0) 北 都 大倉(2分)(緑)

A 神 楽6-0(2-0) 士別FC 藤本(7分), 佐々木(20分, 33分, 39分), 林輝(53分), 谷口(58分)(神)

B 春光台1-1(1-0) 美 深入田(18分)(春) 瀬川(47分)(美)

A 富良野西3-0(1-0) 当麻FC 広瀬(26分), 前田(36分, 57分)(富)

広陵中学校

D FC広陵9-0(6-0) 聖 園平(2分, 7分, 11分, 32分), 安念(15分), 松尾(22分, 47分), 櫻井(23分, 54分)(広)

A 附属0-0(0-0) 富良野東

愛宕中学校

B 光 陽0-0(0-0) 上富良野 [警] 石田奨(上)

B 鷹 栖2-1(1-0) 愛 宕 西野(4分), 山口(58分)(鷹)

留萌浜中運動公園

A 神居東6-0(5-0) 増 毛 國澤(5分, 9分), 佐々木(8分), 今野(18分, 27分), 旭(38分)(神)

C 留 萌3-2(1-1) J-ELM永山 佐賀(18分, 44分), 鈴木(50分)(留)

平井(24分), 佐藤友(56分)(J)

第18節は留萌浜中運動公園など4会場で10試合がありました。浜中運動公園の第1試合では神居東と増毛が対戦。序盤から佐々木が起点となって攻撃する神居東が攻勢をおしかけ、5分に國澤が先制すると、8分には佐々木が追加点。さらには9分に國澤と連続得点しました。その後も今野の2得点などで神居東が6対0で大勝しました。第2試合は留萌とJ-ELM永山が対戦。佐賀の得点で先制した留萌はJ-ELM平井に一旦は同点にされますが、44分再び佐賀が追加点。50分には鈴木が3点目をあげ、J-ELMの得点を佐藤友の1点に抑え3対2で競り勝ちました。

神楽会場の第1試合は緑が丘2ndが2分に大倉があげた1点を守りきり1対0で勝ちました。神楽は佐々木のハットトリックの活躍などで士別FCに6対0で大勝。暫定で1位に返り咲きました。春光台は18分入田が先制点をあげましたが、美深も47分伊東とのコンビネーションから瀬川が同点シュートを決めドローに持ち込みました。富良野西は26分広瀬が先制すると、36分、57分と前田が連続得点し3対0で快勝しました。

愛宕会場の第1試合は原田を中心に光陽が優勢に試合を進めますが、得点できず上富良野との対戦はスコアレスドローに終わりました。上位進出を目指す愛宕は鷹栖と対戦。4分に西野に先制点を奪われると31分滝ヶ平のヘッドで同点に追いつきましたが、58分鷹栖山口に決勝点を許し痛い敗戦を喫しました。

広陵会場の第1試合はFC広陵が平の4得点などで大量9点を奪い、聖園に大勝しました。附属と富良野東は両チーム得点をあげることができずスコアレスドロー。附属は痛い引き分けとなりました。

